



## 金澤町家シンポジウム 2014「金澤町家の魅力と再生手法」を開催しました

平成26年1月11日(土)にITビジネスプラザ武蔵(武蔵町)において、「金澤町家の魅力と再生手法」と題し、金澤町家の魅力を引き出す具体的な再生手法を主眼としたシンポジウムを開催しました。天候の悪さにも関わらず、50名の参加をいただきました。

シンポジウムでは赤坂攻氏(有限会社金沢設計代表)による基調講演後、黒崎敏男氏(観音坂いちえオーナー)と、工藤彩子氏(りでこれ屋一級建築士事務所代表)による事例報告がありました。さらにプログラムの後半のパネルディスカッションでは、来場の皆様からの質問に答える形で議論が行われました。



シンポジウム開催風景

### ●基調講演概要

「金澤町家の再生と街なかの活性化 ～その魅力を活かしながら、耐震、耐熱、明るさ、便利さを満たすサステナブル建築～」  
講演者：赤坂攻(有限会社金沢設計代表)

まず、欧米に比べた日本の住宅寿命の短さを示し、日本の木造建築の技術が高いのに、寿命の長い住宅が建築されていない現代の住宅事情が話されました。また、在来工法と伝統工法の違いに触れ、戦後に計算式によって開発された「かたい」構造の在来工法に比べて、日本古来からの歴史的技法である伝統工法の「柔軟な」構造が日本に適していることを示し、現代の人たちの町家や古民家に対する偏見や間違った考えを見直してもらうよう訴えました。そして、改修事例を紹介しながら「まず改修前に徹底的に調査し、正しくない改築はすべて壊して可能な限り原型に復原する。伝統的様式に敬意を表して正面外観をそのまま生かしている」等の話を伺いました。



赤坂 攻氏

### ●事例報告1：「金澤町家の住み心地」概要

講演者：黒崎敏男(「観音坂いちえ」オーナー、心理相談カウンセラー)

観音坂脇の、かなり老朽化した町家を購入した黒崎氏は、改修前後の様子を紹介しながら、町家居住の想いを語っていただきました。崖に接して建てられているため、外壁のメンテナンスは大変ですが、木の柔らかさへの想いと窓からの見晴らしの良さが、この町家に住まいを決めた理由だそうです。町家の改修にはかなりの費用がかかりましたが、100年後の姿を意識した改修を心がけたということです。また、出身地の富山県から、学生時代を過ごした金沢に移住してきた黒崎さんは、町会行事にも積極的に参加し、「新参者」としての立場を自覚して住むことが大切と語っていました。



黒崎敏男氏

### ●事例報告2：「金澤町家の利活用」概要

講演者：工藤彩子(りでこれ屋一級建築士事務所)

建築士でもある工藤氏は、かねてからの新建材に対する疑問から、金澤町家情報バンク掲載の金澤町家を購入し、住居兼事務所として使用することにしました。さらに町家の良さを皆に知ってほしい、見に来てほしいとの思いから、カフェもオープンすることになりました。いつの間にか、カフェを中心に町家ファンのネットワークができあがったそうです。当時の不動産業者には町家に対しても「古家つきの土地」という見方しかされておらず、町家が壊され人知れず更地になっていく様子に心を痛めていました。



工藤彩子氏

### ●パネルディスカッション概要

・パネラー：赤坂攻、黒崎敏男、工藤彩子 ・コーディネーター：増田達男(金沢工業大学教授、金澤町家研究会理事)

パネルディスカッションでは、参加者からの質問をもとに、それぞれの想いを語っていただきました。古い住宅を残す価値について、古いものは「究極の完成品」であること、歴史を経て意味があるからこそ残ってきたデザインには無駄がないということ。また、町家の改修にはかなりの費用がかかることについて、確かに、現代の住宅を新築する方が安い場合もあるが、その町家と同じものと同じ工法で建築する費用の半値程度で改修が可能であること。伝統工法の技術を持っている職人が少ないことについて、仕事が少ないから成り手がいないのであって、後継者を育てるためにも、町家を壊さず改修することによって仕事を増やして欲しいことなど、話が進みました。町家の価値をできるだけ多くの人に知っていただき、失われることのないように使用し続けていきたいですね。



パネルディスカッションの様子

## ■優良金澤町家認定式が行われました

平成 25 年 11 月 16 日（土）14 時から事務局（ギャラリー一棟）で優良金澤町家の認定式を行いました。

外観に金澤町家の歴史的な特徴をよく残している住宅に対して、金澤町家研究会が認定させていただいています。今年は、新たに 7 軒の町家を認定させていただき、認定証とプレートを贈呈させていただきました。平成 22 年の開始以来、今年で優良金澤町家は 100 軒となりました。

当日は、5 組の町家利用者が出席され、スライドで町家の紹介とともに、自身の町家について感想を述べていただきました。

認定式終了後には、『暮らしのまわり 金澤町家』と題して、奥村久美子氏（奥村設計室代表）による講演会、続いて金沢市職員による「金澤町家再生活用事業」の説明会が行われました。



優良町家表示  
プレート



認定式の様子



奥村久美子氏



講演会の様子

## ■国登録有形文化財・泉家住宅見学会

昌永町の登録有形文化財・泉家住宅が解体されることになりました。それに伴い平成 25 年 12 月 14 日（土）に、研究会会員を対象とした見学会が開催されました。13 名の参加があり、増田達男幹事（金沢工業大学教授）による解説も行われました。

泉家は当初は陪臣と考えられていましたが、平士級の武士であったことが新たにわかりました。文政期（西暦 1820 年頃）の古地図には平士（藩主直臣）として氏名が記載されており、城下の末端部に位置する武家屋敷でした。板葺石置であったかつての緩い屋根勾配が特徴的で、建物の中に蔵が建てられており、各部屋の作りにも趣深いものがありました。この建物は近年まで「泉屋染工場」として使用され、平成 25 年に金沢市に寄付されました。調査の後、解体保存され、いずれは移築を計画しているとのこと。



上写真：解体前の泉家住宅  
下写真：見学会の様子



## ■金澤町家の改修事例パネル展示のお知らせ

平成 26 年 3 月 25 日（火）～3 月 30 日（日）に金沢学生のまち市民交流館（片町）において、金澤町家の改修事例のビフォー・アフター・パネル展（仮称）を開催します。どなたでも自由に見学できますので、是非お越しください。また、休日には相談会も予定しています。詳細が決まり次第、「かなざわ町家」ホームページなどでお知らせします。

NPO 法人  
金澤町家研究会

### 【お問い合わせ】事務局

〒920-0831 金沢市東山 2-1-7 ギャラリー一棟内 Tel. 076-253-3517  
E-mail kanazawa-machiya@nifty.com  
http://kanazawa-machiya.net